

10月定例教育委員会会議録

1	日 時	令和7年10月7日（火）午後3時30分から午後5時00分まで
2	会 場	磐田市役所本庁舎1階第1会議室
3	出席 者	山本敏治教育長、鈴木好美委員、秋元富敏委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員
4	出席職員	鈴木壮一郎教育部長、大場敏弘教育総務課長補佐、大學裕学校づくり整備課長、石田和代学校給食課長、増山尚俊学校教育課主幹、岡部雅放課後活動課長、伊東直久中央図書館長、神谷英雄文化財課長、内野恭宏幼児教育保育課長 (傍聴人2人)

(進行委員：鈴木好美委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

改めましてこんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

9月27日、28日に、国指定重要無形民俗文化財 見付天神裸祭が実施されました。事故のない安全なお祭りにするために、実施に向けてのマニュアルの見直しを行うなど、裸祭り保存会の皆様を始め、伝統を受け継ぐ見付地区の皆様の多大なるご尽力により、祭りに参加している方はもちろんのこと見学をされている方も含め、多くの皆様にとって安全で楽しいお祭りが開催できたのではないかと思います。一方で、以前にも話をさせていただきましたが、お祭り文化の保存継承は、どの地区においても共通の課題になっています。見付地区においては、裸祭り保存会の皆様が中心となり、小中学校に出向いて小学校5,6年生、中学校1年生に対して裸祭りについて訪問授業を行ったり、中学校では縁起ものである「すがりの藁」づくりを体験したりするなど、裸祭りの伝承に努めています。また、掛塚地区では、掛塚屋台囃子保存会の皆様が、竜洋西小学校2年生に対してお囃子の演奏や指導を実施していただいている。その他の地域においても、地域の皆様の多大なる御尽力により、お祭り文化が引き継がれてきています。本当に頭の下がる思いで一杯です。

お祭りや民俗芸能は、人と人とのつながりを広め深めるとともに、地域の活力を高めること、さらには、磐田市教育委員会の目標にもある「ふるさとを愛すること」にもつながっていくものと確信しています。時代時代で少しづつ形を変えながらも引き継がれてきた地域の貴重な文化、財産が今後も保存継承していくことを願ってやみません。学校教育においても、地域の人、モノ、コトとのつながりを深め、地域の歴史、文化を、本物体験として学んでいけるよう、今後も引き続きさらなるコミュニティ・スクールの推進を図っていけたらと考えています。

本市では、来年度4月から、中学校1年生の制服が、従来の男子学生服、女子セーラー服からブレザータイプの制服に変わります。令和5年度から、磐田市校長会が中心となり、制服のあり方検討委員会で磐田市内の中学校の制服の方向性について検討を進めてきました。検討委員会では、生徒や保護者、教職員へのアンケート結果の分析や国・他市町の動向などの資料を基に協議を重ねた結果、スクールメリットや利便性等を踏まえ、機能性や耐久性を重視した新制服を中学校共同で選定することが望ましいという結論を得ました。その方向性を受け、令和6年度から保護者や教員代表、学識経験者等による磐田市制服選定委員会が設置され、その仕様の具体やメーカー・販売店の選定などを協議し、小学校4年生から6年生までの児童・保護者及び中学校1年生から3年生までの生徒・保護者のアンケート結果を踏まえ、新制服のデザインが決定しました。なお、ネクタイやリボン、制服下に着用するポロシャツ等については、各中学校において生徒の意見を聞きながら決定しました。社会の急激な変化や気候変動を背景に、生徒の自律的な選択に基づく着用、保護者の経済的な負担軽減など、様々な観点から検討を重ねるとともに、小学生・中学生・保護者・教員の思いや願いが詰まった新制服がいよいよ来年度4月からお目見えします。是非ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

それでは、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

3 教育部長報告

台風22号が接近しています。最新の情報では、9日の朝9時頃に1番接近するということです。学校給食については予定どおり行いますが、前回の台風が昼頃にあったときには、児童・生徒を帰すか帰さないか、学校によって様々対応が違い、保護者の皆様にも御心配をおかけしたという事例もございますので、学校教育課については注意喚起をぜひ流していただきたいです。

4 前回議事録の承認

8月28日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

5 報告事項

(1) 幼児教育保育課

<質疑・意見>

なし

(2) 教育総務課

○補正予算についてご報告させていただきます。こちらは、令和7年9月5日に接近した台風15号に伴う大雨の影響により被害を受けた、竜洋海洋公園テニスコートの屋根シートの復旧に要する経費の補正です。修繕は市債で対応します。通常の補正予算であれば、市議会上程前に議案として定例教育委員会にお諮りするのですが、今回の補正予算は緊急対応のため、昨日、市議会9月定例会に追加上程されたため、事後の報告となりました。よろしくお願ひいたします。

<質疑・意見>

なし

(3) 学校づくり整備課

○1点目の豊浜小学校PTA主催保護者意見交換会の参加者は8名で、あまり多くの意見を聞けたわけではないですが、一部豊浜に残してほしいというような意見を頂戴しているところです。また福田は全地区、一体校についての説明を一巡いたしましたが、今後も引き続き地域に入って対応を続けていく予定をしています。11月になりますが、竜洋地区からも2回ほど同じような一体校に関する説明会をお願いしたいということでお話が来ていますので、ご報告いたします。

2点目の向陽学府小中一体校開校準備委員会ですが、こちらは夏に委員の皆さんにも実際に校舎の中をご覧頂きました。ご覧いただいた時に感じたことや要望が寄せられましたので、それについて開校準備委員会で検討を重ねまして、今後の工事に生かしていくという趣旨で開催させていただきました。

<質疑・意見>

■豊浜小学校PTA主催保護者意見交換会の8名の参加者は、どの年代であったか教えてください。

□保護者の方の参加はほとんどなく、見た目では40歳を超えたくらいの方が1番若かったと言つておりました。

■11月に竜洋地区で説明会が行われるとのことでしたが、何か一体校に関する具体的な話をするのですか。

□地域でいろいろとお考えいただいていることは聞いておりますが、まだ教育委員会としての動きは地元の説明会に1回入っただけでして、これからスタートという形で捉えております。

■何かここでお話しできるようなことはありますか。例えば、保護者の方から質問を受けている段階に入っているのか、どのような状況か気になりました。

□市長や教育長が開催している「これからの中の公共施設と教育施設の意見交換会」の説明会の中では色々な話を伺っていますが、個別に一体校をこうしてほしいという要望はまだ聞いていないです。これからきちんと承った中でどういうスケジュールを組んでいくかを決められれば良いなと思っている段階です。

○学府一体校については、施設整備の一体型のようなイメージが先行してしまっているところがあります。しかし、本来は子どもの育ちや環境、子どもの学校生活におけるものを一体化することによって伸びるということを地域の皆様にご理解頂いた上で、うちの地域は一体校に協力したいから、ぜひやってもらいたいといったような前段階での説明会にお声がけを頂いて、出ていく予定ということを御理解頂ければと思います。

○今年も 10 月 9 日から「これからの中の公共施設と学校施設の意見交換会」が始まります。昨年度もやらせていただいて、どういう学府一体校にしたいかという大きな考え方、また実績を含めてこんなことを狙っているというところをお話します中で、ぜひ学習会をと声掛け頂いているので、御理解ください。

■向陽学府小中一体校開校準備委員会で、先生たちからどのようなご意見が出ましたか。

□廊下と教室を仕切る壁ですが、できれば採光や換気も含めて、上あたりに採光窓をつけて換気ができるようにしてほしいという意見が 1 番大きなものでした。

(4) 学校給食課

○実施事業、実施予定事業は資料のとおりです。

実施予定の中で学校給食運営委員会の開催を予定していますが、給食費の見直しについての協議をする予定でいます。

次に秋元委員からご質問をいただいた「市政 20 周年記念事業磐田市学校給食試食会」についてご説明いたします。この事業は、コロナ前に開催していたもので、20 周年をきっかけに開催を計画しました。各センター、共同調理場それぞれ定員 20 名とし、献立については特別なものを提供するのではなく、普段の給食を食べていただきたいと思っています。応募状況は、大原、豊田、ながふじは定員を超えており抽選となります、豊岡はまだ若干空きがある状況です。

＜質疑・意見＞

■開催日が違いますが、メニューは別々のものですか。

□献立はそれぞれ違うものになります。子どもたちにその日提供されるものと同じものを提供します。

■量は何年生のものですか。

□小学校 5, 6 年生のものを提供します。

(5) 学校教育課

○実施済、実施予定事業については記載のとおりです。変更はありませんが、鈴木委員より事前に質問いただいた 2 点のうち、1 点先に回答いたします。8 ページの重点事項、実施済み事業の報告の中にある「資質能力、非認知能力ベースのカリキュラムづくり」に関してですが、『「たくましい磐田人」として育つためのカリキュラム』のことを指します。「何ができるようになるか」資質・能力の育成と、意欲、粘り強さ、協調性、自制心、主体性といった、個人の内面的な力を育てる非認知能力の育成を鑑みたカリキュラムです。

磐田市では、「こころざしをもつこと」「共に生きること」「強い心をもつこと」を軸とし、子どもの資質能力を育てるカリキュラムの一つとして提案し、それらを参考にしながら、各学府がカリキュラムを作成、取組を進めています。

2 点目の質問については、全国学調の報告の中でまとめて報告させていただきます。成果として、昨年度の提言に基づいた取り組みが着実に進んでおり、「協働的な学びの充実」「探究的な学びの深化」「ICT を活用した情報の整理分析発表が充実」など成果が出ています。知識・技能の習得と活用には引き続き改善が必要で、「振り返り学習の質の向上」「根拠に基づいた構成や相手意識を持った表現」「実生活との関連を意識した学習」などを意図的に行っていきます。保護者向けのリーフレット

を作成しました。結果に加え、今後伸ばしていきたいポイントについても簡潔に記載させていただきました。

御質問いただいた中学校理科の数値ですが、IRT スコアをベースにしています。全ての生徒がすべて同じ問題で解くのではなく、いろいろなサンプルからデータを取りスコアを 5 段階に分けます。3 の範囲が基準となり、それが 500 で基準となります。R7 は、503 が基準となったため、本市では、40 ポイント上回りました。次回実施時には、本市は、543 が基準となります。そのため、異集団での比較ができることができるのが、IRT スコアの特徴です。説明は以上となります。

＜質疑・意見＞

○令和 7 年度磐田市学力向上のためのリーフレットについてです。題目の下にある文章で 2.3 行目に

「磐田市のことどもたちのよさをお伝えするとともに、今後、伸ばしていきたいポイントについてまとめました」と書かれていると思いますが、良さがあまり伝わらないと感じました。保護者の皆様向けにお出しになるものと思って見ていました、成果と課題を丸と三角で表現されていますが、成果はよさとも言えるし、成果で出てこなくてももともと持ってるよさはあると思います。また、下のほうにポイントと書かれているところが、伸ばしていきたいポイントのことを指してると思ったので、しっかりと「今後伸ばしてきたポイント」と入れたほうが読む方には伝わると思いました。

■コドモンで流しましたか。

□まだ流していないです。この定例教育委員会が終わってから流します。

■回答の正答率の全国比はプラスが多いので、テストの結果は良かったという認識で合っていますか。また質問紙から小学生や中学生は「自分の考えが伝わりやすいよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」点が課題ということでおろしいですか。

□はい、合っています。根拠を明らかにして考えるという点は全国的にも低いですが、本市としてもそこが弱く、また自分の表現をするところも弱いと思います。

■今回良かったのは、これに向けて皆さんが課題に対する取組をしたからということですか。

□探究のサイクルが関連しますが、子どもたちが課題に対して情報収集をするのを動き出したところがかなり大きいです。小学校でもやっていますが、中学校での探究学習が定着してきて、よりぐっと伸びていると思います。

○リーフレットにある緑色の自己有用感の欄ですが、こちらだけ全国比が入っていないです。ここは比べられるものがないで入れていないのか分かりませんが、合わせたほうがいいと思いました。

（6）放課後活動課

○事前入会希望のアンケートを小 5、小 6、中 1 を対象に実施しました。またロゴマークのアンケート実施も終わっているので、現在の結果をお知らせします。事前に選定した 6 個の中から中学生にアンケートをとり、一番票が集まったものは 1,090 票のものです。これから商標登録の確認をとり、問題がなければスポカルはこちらのロゴマークに決定します。冊子や T シャツを作ることがありましたら、このマークを使っていきたいと思います。そしてこちらのマークをデザインしてくれた中学生には、今後教育長のところへ来ていただき、表彰するなど考えていこうと思っています。

事前入会希望のアンケートの結果は、まだ集計中のため今回は載せていないですが、あまり多くの数が集まっていません。今後、指導者の募集の状況から、第 1 案ではバレー・ボーラーを 3 地域に分けて実施しようとしていたのを、2 地域になってしまふところまで提示し、もう一度、年内に小 5 小 6 中 1 にアンケートをとっています。遅くとも今年度末までには第 2 案として、部活動の展開方針を出していきたいと思っています。

指導者は当初 62 名でしたが、周知いただいたおかげで現在 94 名集まりました。ソフトテニスは当初 1 人の指導者しかいませんでしたが、中学校の先生たちの御協力のおかげで、5 名程やつても良いという方が出てくれたため、男女とも 1.2 チームずつくらいできる予定です。また、硬式テニスもやりたいという方もいますので、選択肢を提示し、受皿も整理していきたいと思っています。

その中で、鈴木委員から事前に質問をいただきましたので、回答いたします。スポカルについて毎回場所が変わったり、開催日時が定まらなかったりということが想定されてしまうと思うのですが、

活動場所の予約など優先される等の優遇はないのでしょうかとの質問がありました。学校施設の貸し出しは午後 6 時 45 分からとなっています。授業等終了から貸し出し時間まで現在は部活動で使用していますので、地域展開され平日の活動が地域クラブとなつても中学生が活動する時間は確保していく予定です。

次に、部活動外部指導者と指導員を新たに配置します。ご承知おきください。

また来年度の児童クラブ一斉募集についてです。11 月に入りましたら配信します。募集期間は、11/14 から 12/15 で、11 月の広報いわたにも掲載しますので、ご承知おきください。

＜質疑・意見＞

■活動場所の優先の件で、土日の学校施設も優先されますか。

□優先されます。例えばサッカー部につきましては、土日は合同で練習し、ローテーションで使えると思っています。

■吹奏楽はどうなりましたか。

□体制がどうなるか分からぬですが、学校内の音楽室でやつてきます。現在 2 名が指導者として手を挙げており、今後、各種目それぞれ集まつていただいてお話をします。そのときに 2 名の方にも集まつていただき、どうするか話をする予定です。吹奏楽は場所もそうですが、楽器が高額という問題、また学校のものを使用した際の修理をどうするかという問題もあります。スポカルのユースウィンドの指導の方は、浜松の学校で使わなくなつた楽器をある楽器会社が引き取つて修理し、リースでの貸し出しを連携しながらやつてるので、情報を収集しながらやつてきたいと思っています。

○先ほどバレーボールに人が集まらなかつたので、3 ブロックから 2 ブロックにするとの話があつたと思います。現在、城山中の女子バレーボール部は 30 名くらい在籍しており、神明中や一中もある程度在籍しています。そのため 1 つにまとまると、7,80 名になつてしまい、私の感覚では、1 クラブでやるには多すぎのではないかと思っていました。個人的には 3 ブロックだとかなり窮屈というイメージを持ちましたが、アンケートではそれとはまた逆の結果が出ていたのに驚きました。

○サッカーのように大きすぎるところは 3 つから 4 つに変更といったような話も種目ごとの指導者会議で今後出てくることは想定されます。

■どのクラブもまだまだ流動的ですか。

□第 1 案で確実にできるのはサッカーです。野球やバレーも人数は集まつてきていますが、指導者がもう 1 人か 2 人いれば、それぞれの負担が減るのでいいなと思っています。

■スポカルに参加しないと表明をしている方は多いですか。

□今は割合が出ませんが、塾に行くといった理由によるもので参加しない方はいます。回答数が少ないため参考になるか分かりませんが、17%が活動しないようでした。塾や習い事を中心に活動というのは 29%、民間のクラブにも入らず、スポカルもやらないのは全体で半分くらいでした。

■地域性があるかどうか聞きたいです。例えば地域を 3 つに分けたときに豊岡の子どもは移動がかなり多くなつてしまつうと思います。地域によってどうしても参加できない人が多いなど分かりますか。

□今は数値が分かりません。やらない理由として勉強や趣味を充実させたいといったもの、またお金がかかりそうという方もいるため、基金を設立するなど情報提供をしていきたいです。

■アンケートの中にクラブの話がありましたが、スポカルに入らずクラブに入る方は増えていますか。

□返答人数が少ない中での割合なので、全体はまだ捉えられませんが、20%くらいです。スポカルでやる方は 37% となります。

○今決めかねていたり迷つていたりといった方が多いと思いますが、お母さん的にどこでやるか場所が決まつていないのに対しやりますとも言えないということですね。

○情報が届いていないものもありますし、課長から話あつたように、回答を捉え切れてないところもあるので、どれくらいの枠組みでチームをスタートするのか、あと子どもたちの希望する数と、指導者の数をうまくマッチングできるかなどいろんな要素が入つてるので、より 100% に近い子たちから回答や思いを伝えてもらい、きちんと実態把握をしながらスタートしないといけないところは今確認し合つてゐるところです。また改めて報告をさせていただく形になると思います。

- 放課後児童クラブのアンケート結果の中で、昼食料金が高いとありますか。
- 500 円です。今後事業者との調整もしていくますが、メニューから判断してそのように感じる方が多いようです。また磐田は圧倒的に注文数が少なく、お弁当を作ってきている方が多い傾向です。
- 需要と供給のバランスですが、全部を集約して 1 か所の弁当屋で頼めば、それなりに子どももメニューを開発してくれるかもしれません。また学校給食のようなアレルギー対応まで全て考えた給食が提供できるような仕組みであれば、多くの方が注文される可能性があります。準備が整うかどうかは別として、現状のように各 4 ブロックが個別に発注しているやり方では、昼食はあまり伸びないというのが僕らの分析で、継続検討課題の一つです。
- アンケートから、土日祝日は利用しないのは 74% となります。今年と来年の状況を見ながら、また来年度プロポーザルとなっていきます。全くなくす意味はないと思っていますが、そのときの仕様書は少し変えるなど検討したいです。
- その他のところで委託業者によって対応に差があると感じるのは、仕方ないと思いますが、誰がそう感じたのか不思議に思いました。
- コミュニティやネットワークの中でそのように感じているようです。

(7) 中央図書館

<質疑・意見>

- 齋藤さんに学ぶ「絵本大学」は、どれぐらいの年代の方を想定していますか。
- 大人を対象と想定しています。

(8) 文化財課

- 実施済み、実施予定事業については記載のとおりですが、事前に秋元委員より職業体験学習について、受講した生徒たちはどのような感想を持っていましたかというご質問を頂きましたので回答いたします。今回は主にうちの所管施設である赤松家の施設管理や、発掘現場から出てきた出土遺物の洗浄、向陽学府の発掘現場体験などを 2 日間体験していただきました。子どもたちの感想としては、市役所にこういう場所があることや仕事をしていることを知らなかつた、そして貴重な体験ができた、自分が想定していたものと違う体験ができ楽しかったといったご意見を頂いております。

<質疑・意見>

なし

7 協議事項

・令和 8 年度の学校教育及び社会教育に関する一般方針について（意見聴取）

- リーフレットは各年度の教育委員会の目標、方針、施策を取りまとめ、教育長、教育委員からのメッセージとともに、一般に周知するために作成しています。教育に関する基本的な方針は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 25 条により、教育委員会が定めるものとされているため、毎年度、教育委員会の目標や方針について委員の皆様からご意見を伺っているものです。教育委員会の目標は、平成 22 年度から現在の形としています。3 つの方針についても平成 28 年度から継続しているものです。今回は、令和 8 年度の目標と方針についてご検討いただき、11 月以降の定例教育委員会で再度ご協議いただくことになります。

なお、令和 7 年度は、委員の皆様からのご意見を受け、方針 1 施策 1 のタイトルを変更しました。次年度に対するキーワードなどを踏まえて、委員の皆様のご意見をお伺いいたします。

<質疑・意見>

- 今まで紙媒体で印刷をしていたリーフレットは、学校や関係者などいろいろなところに配布していました。しかし今年度はデータでの配布となつたため、ホームページに掲載のみで、特にどこかに配信はしていないということです。

いわたの教育の冊子も今年度からデジタル化しているので、それができるまでの間の補完する資料として、活用させていただくものになります。いわたの教育につながる内容がリーフレットに入り込

む流れの中で作成をしていかなければいけないということ、またいわたの教育をホームページに出すまでの方向性を示すものという位置づけの認識で、何かご意見ありますでしょうか。

○これまでに進めてきた主な事業の中に平成 19 年からのものがありますが、載せないといけないものですか。内容は入替えていると思いますが、これまで進めてきたことよりもこれからやっていきたいことを知ってほしいのに、先にこちらが載っているのに関して、順序を考えた方がいいのではないかと思いました。

○個人的な意見ですが、実際にいわたの教育の冊子を読む人は少ないと思います。リーフレットを 3.4 ページくらいに収めないと読む側にとっては苦痛だと思うので、コンパクトに伝えられるようにしたほうがいいと思います。運営協議会でリーフレットの今年度の主なポイントの話はしますが、あまり反応がないのが現状です。我々としては保護者や子どもたち、また先生の目にとめてもらいたいし、伝えたいです。記載する事業については、スポカルについてはもう少し全面に出したほうがいいと思います。また集中的に力を入れているものや予算をつけているようなものを押していくべきだと思います。

○これまで進めてきた主な事業をやめて、現在進めている主な事業のところに今も続けてやってることを盛り込むと、字数は少なくなります。記録のために必要で残さなければいけないですし、デジタル化していれば目次から自分の見たいところにページを飛んで見ることができますので、そういう使い方で見てもらえるようにしなければいけないと思います。

8 その他

・令和7年度市町村教育委員会研究協議会（第3回）について

○研究協議会で京都に行かせていただきました。私が参加した分科会は、いじめ対策と地域と学校の連携・協働についてでした。いじめ対策については、夜中にきたメールやラインを市役所の方や教育長が返信する自治体があり、その対応に驚きました。また障害特性を有する子どもは、いじめられたことをいじめられたと思っていない人が多く、傍から見たらいじめであることをきちんと認知して対応していかないといけないとのお話がありました。他には室長級のスクールロイヤーを教育委員会に常駐させている市もありました。同じ班の宝塚市の方で、市内のフリースクールを7か所経営している方がいました。それぞれ勉強するところ、遊ぶところといったように特徴があり、子どもたちは自分に合ったところに行ける場所があるとの話をしていました。

また地域と学校の連携・協働については、磐田市は大体年に2.3回運営協議会を行っていますが、丹波篠山市は3回から5回行っているとのことでした。どうしてそんなに行っているのか聞いたところ、学校に予算をつけ、運営協議会自体が地域や学校に根差した主体的な動きをしてもらうためとのことでした。個人的にすごく刺さったのは、地域とともににある学校なのか、学校とともにある地域なのかに関して話をしたことです。もともと地域があり、地域とともにある学校ではないかとの意見が出て、地域と学校のあるべき姿について理解を深めることができました。そして、運営協議会に出席した人に1回1,500円払っている市もありました。

また雑談の中で、部活動について他市にお聞きしたところ、部活の競技ごとにN P O法人を作り、そこで派遣をやってもらうところがありました。学校の貸し出しに関しては、元々学校を開放して音楽室や調理室を貸し出している市があり、他の教室に入ってしまったり、何かものがなくなったりなど良くないことが起こると、団体からはじき出される監視システムがあることに驚きました。決まりを遵守しない人にはそれなりのペナルティがあるのは、スポカルでも参考になるかなと思いました。

9 次回の開催予定

・定例教育委員会

日時：令和 7 年 11 月 11 日（火）午後 5 時 30 分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会